

12月定例会を 振り返って

会派の意見

市民クラブ

三期末の岡崎市長に期待

市長選後初の議会で、代表質問のトップを切った近藤強議員が市長の政治姿勢等について質問した。

執行部からは、南海地震対策として、機構改革で防災対策部を創設し、市民の安心・安全を守る取り組みの強化や、消防署所の再編、庁舎建て替え、また子どもファンドによるまちづくりの提案について、認められたものから事業を実施する仕組みを考えている等の答弁があった。

個人質問で門田権四郎議員は、チャレンジ塾による今後の学びの場提供への期待や発達障害児に対する支援の必要性等について訴え、理解と支援を要請した。

田鍋剛議員は、絶海の排水対策の経過説明が、地元不足している事を鋭く指摘、今後對話の場を持つとの答弁があった。また、民間保育園舎の耐震診断

については、平成24年度から3年間、年5カ所程度の施設に補助を行うとの答弁を引き出した。深瀬裕彦議員は、春野東部地区のまちづくりや伝統文化の伝承発展活動、消防団への無線配備、年金型生命保険の二重課税問題について質問した。

新こうち未来

代表質問に戸田二郎議員、個人質問に氏原議員、川村議員、土居議員、浜口議員が登場！

わが会派の目指すべき高知市像として戸田二郎議員が代表質問を行った。教育問題に関しては、小中学校での国旗掲揚と国歌斉唱の徹底を要望。本会議場への国旗・市旗掲示の必要性も訴えた。その他、新図書館への郷土史の配置、街路樹整備による都市緑化、再生可能エネルギーの開発を軸とした低炭素都市づくりの強化を求めた。個人質問で氏原剛志議員は、春野地域における市街化調整区域の緩和措置を要望。市街化区域内農地に対する税制優遇策を提案。川村貞夫議員は、執行部提案の過疎地域自立促進計画の一部変更に関して、再生可能エネルギー利用などの力強い意気込みが欠如していると鋭く指摘した。土居ひさし議員は、朝倉地区の南北道路早期整備の要望、埋蔵文化財を生かした文化振興ビジョンの策定、生活保護費の不正受給根絶に向けた体制づくりを提

案。浜口卓也議員は、小中学校教育において正しい歴史認識を教え、日本人の誇りを取り戻す必要があることを指摘した。

新風クラブ

三選後の初議会

岡崎市長の政治姿勢をたずね！

会派代表質問には中澤はま子議員が登場。去る11月30日、わが会派が提出した「平成24年度予算編成にあたっての要望・提言」を基に、三選を果たしたばかりの岡崎市長に重要市政課題への取り組み姿勢や方針についてたずねた。中でも子育て支援策拡充の一つとして指摘した同時入所の第二子保育料減免幅の見直しについては、現在の半額免除を拡大する旨の答弁を引き出した。保育料完全無料化を要望しているわが会派として不満はあるものの、第一歩は踏み出したものと考えた。

次いで個人質問に立った竹村邦夫議員は、市民サービス向上施策に取り組むスピードの遅さを厳しく指摘、特にコールセンターの設置時期について具体的な答弁を求めた。これに対し総務部長は、平成25年度からの運用開始を目指す方針を初めて示した。その他市民からの意見・要望に基づき、「南海地震発災後のペット対策」や「成人の引きこもり問題への対応」について執行部の考え方や取り組み状況をたずねた。

公明党

岡崎市長の三期末の施政方針を踏まえ、喫緊の市政課題について4名が質問を行いました。

山根堂宏議員は、代表質問において高知市議会公明党の立場で、先に会派で市長に提出した95項目の「平成24年度の予算要望書」に基づいて、会派の提言を踏まえ、市長公約の施策や施政方針についてたずねました。

寺内憲資議員は、公募を行わずに市の外郭団体を指定管理者として指定する議案に関して、適正な指定管理者制度運用の観点から、その根拠を示すよう市長に迫りました。

高橋正志議員は、補正予算案中の「津波防災対策事業に係る避難路整備」7地区における地元権者との交渉状況経過や問題点などについてたずねました。

西森美和議員が求めた「高知市防災会議」への女性登用にに対し、市長は条例改正を含め積極的な姿勢を示すとともに、学校給食に食材を納入する生産者への助成制度にも前向きな答弁がありました。

日本共産党

子育て支援の拡充と

公正な行政運営を求める

市議会6名全員が質問、討論に立った。特に遅れている子育て支援では、中学校給食や第三子の保育料無料化などの実施を

求め、保育料軽減が予算化される見込みとなった。介護ではサービスの後退につながる「総合事業」選択を指摘し、基金は保険料の引き下げに充てるよう求めた。国の地域主権改革で保育や住宅分野の「最低基準」が後退しないよう約束させた。「同和地区」出身者を認定するリストを作成していることは基本的人権の侵害であり早急な廃棄を求めた。住宅政策では高齢者優良賃貸住宅の入居基準の扱いが生活保護者を排除している実態を指摘し、改めさせた。また、工事入札における談合疑惑では「誓約書」を提出させるように指摘し、1月から求めることとなった。教育ではテスト漬けの学力向上対策を指摘し、過度な競争と序列につながるテスト結果の公表をしないよう求めた。

みどりの会

近森議員のまちなかユーモア美術館の提案を市長がOK。市の新観光資源誕生や発がん性物質PCBの処理、学校給食の地産地消と地元業者初の学校給食への参入、緊急災害放送設備の補助金決定等、50件以上の事業提案や改善を終了しました。

